

# Oracle Switch ES2-72 および Oracle Switch ES2-64 セキュリティガイド



Part No: E63283-01  
2015 年 4 月



## Part No: E63283-01

Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクル およびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

### ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

### Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。



# 目次

---

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| Oracle Switch のセキュリティ ..... | 7  |
| セキュリティの原則 .....             | 7  |
| ソフトウェアを最新に維持する .....        | 7  |
| システムアクティビティをモニターする .....    | 8  |
| 最新のセキュリティ情報を確認する .....      | 8  |
| ハードドライブ .....               | 8  |
| セキュアなインストールおよび構成 .....      | 8  |
| セキュリティ機能 .....              | 9  |
| AAA .....                   | 9  |
| ログイン情報 .....                | 9  |
| ファームウェアアップグレード .....        | 10 |
| 開発者向けのセキュリティの考慮事項 .....     | 10 |



# Oracle Switch のセキュリティ

---

このガイドでは、Oracle Switch ES2-72 および Oracle Switch ES2-64 のセキュリティガイドラインについて説明します。

- [7 ページの「セキュリティの原則」](#)
- [8 ページの「セキュアなインストールおよび構成」](#)
- [9 ページの「セキュリティ機能」](#)
- [10 ページの「開発者向けのセキュリティの考慮事項」](#)

## セキュリティの原則

- [7 ページの「ソフトウェアを最新に維持する」](#)
- [8 ページの「システムアクティビティをモニターする」](#)
- [8 ページの「最新のセキュリティ情報を確認する」](#)
- [8 ページの「ハードドライブ」](#)

## ソフトウェアを最新に維持する

優れたセキュリティ実践の原則の 1 つは、すべてのソフトウェアおよびファームウェアのバージョンとパッチを最新に維持することです。

Oracle スイッチには、最新に維持する必要のあるファームウェアが組み込まれています。ファームウェアにアクセスできるのは、スイッチのサービスプロセッサ上で稼働している Oracle ILOM にアクセスできるシステム管理者だけです。

## システムアクティビティをモニターする

Oracle ILOM はシステムアクティビティをメッセージログに記録します。Oracle スイッチのファームウェアのアップグレードアクティビティもログに含まれます。

3 回連続で構成がクラッシュした場合、障害の発生した構成ファイルが保存され、可用性を確保するためにシステムは出荷時のデフォルト構成に戻ります。これが発生した場合は、Oracle ILOM アラートがログに記録されます。

## 最新のセキュリティ情報を確認する

Oracle では、ソフトウェアおよびドキュメントを絶えず改善しています。製品のリリースノートを頻繁に確認して最新情報を入手してください。

## ハードドライブ

ハードドライブは多くの場合、機密情報を格納するために使用されます。この情報が不正に開示されないよう保護するため、ハードドライブを再利用、廃止、または廃棄する前にサニタイズしてください。

- Oracle Solaris format (1M) コマンドなどのディスク抹消ツールを使用して、すべてのデータをディスクドライブから完全に消去します。
- 組織は、データ保護ポリシーを参照して、ハードドライブをサニタイズするために最適な方法を判別するようにしてください。
- 必要に応じて、Oracle の Customer Data and Device Retention Service をご活用ください

<http://www.oracle.com/us/support/library/data-retention-ds-405152.pdf>

## セキュアなインストールおよび構成

Oracle スイッチは、すべてのファームウェアがインストールされた状態で出荷されます。お客様がファームウェアのインストールを行う必要はありません。パッチや新しいファームウェアリリースなどのソフトウェア更新コンポーネントはすべて、Oracle のダウンロード Web サイトからダウン

ロードする必要があります。ダウンロードするには、サービス契約の情報と資格証明を使用してサイトにログインしてください。

---

**注記** - Oracle スイッチのファームウェアイメージは、Oracle ILOM でのみアップグレードできます。

---

新しいファームウェアをインストールするには、[http://www.oracle.com/goto/es2-72\\_es2-64/docs](http://www.oracle.com/goto/es2-72_es2-64/docs) にあるプロダクトノートを参照してください。

## セキュリティ機能

ユーザーは、Oracle スイッチのファームウェアに直接アクセスすることはできません。すべての要求は Oracle ILOM を介してプロキシによって処理されます。

- [9 ページの「AAA」](#)
- [9 ページの「ロギング情報」](#)
- [10 ページの「ファームウェアアップグレード」](#)

### AAA

Oracle ILOM によって提供される重要なセキュリティ機能は次のとおりです。

- **認証:** 権限のある個人のみがシステムおよびデータにアクセスできるようにします。
- **承認:** システム特権およびデータへのアクセスを制御します。これは、個人が適切なアクセス権のみを取得するようにする認証に基づいて構築されます。
- **監査:** 管理者が認証メカニズムの侵害の試みや、アクセス制御の侵害または侵害の試みを検出できます。

Oracle ILOM の詳細は、<http://www.oracle.com/goto/ilom/docs> にある Oracle Integrated Lights Out Manager ドキュメントコレクションを参照してください。

Oracle スイッチのセキュリティ機能には、Oracle ILOM でのみアクセスできます。

### ロギング情報

すべてのロギング情報は、Oracle ILOM でのみ使用できます。

## ファームウェアアップグレード

アップグレードは、Oracle ILOM でのみ実行できます。

## 開発者向けのセキュリティーの考慮事項

Oracle スイッチ上で実行されるソフトウェアとファームウェアはすべて Oracle から提供されます。お客様が独自のソフトウェアを開発してスイッチ上で実行することはできません。